

令和2年9月15日（火曜日）



【台風10号被害】足立敏之議員が宮崎県視察／報われる地域建設業に

自由民主党の足立敏之参議院議員は9日、参議院災害対策特別委員会の委員として7月の豪雨で被災した熊本県南部の被災状況を調査するとともに、台風10号による土砂災害が発生した宮崎県椎葉村を訪れた。椎葉村では、土砂崩れにより延長約220m、幅約20～40mにわたって斜面が崩壊。宮崎県建設業協会会員である地元の相生組の社宅兼事務所が巻き込まれて全壊し、社長の家族およびベトナム社員が行方不明となっている。足立議員は「地域のために貢献する強い意志を持った、地域でも信頼される企業であり、とても痛ましい」と無念さをにじませた。



椎葉村の土砂崩れ現場を視察した足立議員（左）と長峯誠議員

また7月豪雨でも各地で地域の建設企業の住宅が被災するなど「地域で災害復旧に対応し、地域に住んで地域を守る方々は、災害のリスクにいつも接している」と指摘。災害協定等を結んでいても、待機を求められていない場合はボランティアで自主的に待機する企業もあるため、足立議員は「頑張っている地域の建設業が報われるような補償が必要ではないか」との考えを示した。

熊本県の視察では、人吉市内の被災した特別養護老人ホームや小学校、応急復旧により早期開通にこぎ着けた西瀬橋、木造仮設住宅の整備状況などを確認した。